



梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



大石 純夫
リポーター

親子で楽しんだコクリンピック

小久慈恐竜フェス「コクリンピック」 3月22日



小久慈キャラクター「コクリン」(上) 恐竜着ぐるみレースの子恐竜(右)



小久慈市民センターで開催されたコクリンピックに約180人が参加しました。来場者は恐竜の着ぐるみレースやコクリングッズ作りなど、恐竜にちなんださまざまな遊びを満喫。大道芸の披露やお菓子や恐竜カステラのプレゼントもあり、子どもたちは大喜びでした。(大久保)

脈々とつながれてきた吹奏楽

第25回吹奏楽祭 3月22日



約150人が圧巻の演奏を披露した全体合同演奏

プロの演奏家や指導者を講師に吹奏楽の技術を学ぶ吹奏楽クリニックの成果発表会が、十文字チキンアンバーホールで開かれました。洋野町から普代村まで沿岸4市町村の生徒や一般の人が練習の成果を披露。最後には出演者全員がステージに立ち、心を一つに演奏しました。

鍵掛けの励行を呼びかけ

鍵かけモデル地区指定書交付式 4月6日



鍵かけモデル地区指定書を受け取る船渡理事(左)

侍浜町内会連合会が、久慈警察署が取り組む鍵かけモデル地区に指定されました。指定書の交付を受けた、同連合会の船渡建治理事は「防犯対策を見直す良いきっかけになります。家や車の鍵掛けを徹底し、近所の人にも声をかけていきたいです」と気を引き締めました。

統計調査への功労を表彰

2025農林業センサス功労者農林水産大臣表彰伝達式 3月10日

統計調査の2025農林業センサスで統計調査員を務めた小向進さんが、農林水産大臣表彰を受賞しました。長年調査員を務めた実績や姿勢が評価されて受賞。市役所で伝達式が行われ、県統計功労者表彰受賞者とともに、遠藤市長から賞状の伝達を受けました。

小向さんは「表彰をいただき感動しています。受賞は調査に協力いただいた地域の皆様、指導いただいた担当職員の皆様によるものと感謝申し上げます。受賞を励みに、今後も正確なデータ収集と統計思想の普及に精進したいです」と思いを語りました。



賞状を掲げる小向さん(前列左から2人目)と受賞者の皆さん

世代を超えて楽しむまめぶ

第4回芸能祭 in 平庭山荘 3月22日

久慈まめぶ部屋がまめぶ作りを楽しむイベントを平庭山荘で開催し、市内外から約180人が参加しました。参加者は同部屋のメンバーから作り方を教わりながら、くるみと黒砂糖を生地に包み丸く仕上げるまめぶ団子づくりに挑戦。まめぶ汁にできてを味わいました。芸能祭では歌や踊りが披露され、最後は久慈まめぶ部屋の横綱が土俵入りを行い、イベントを締めくくりました。

市内から参加した田面三枝子さんは「教えて貰い、うまく丸くできました。作りたてはすごくおいしかったので、家でも作ってみたいです」と笑顔を見せました。



できてのまめぶ汁を楽しむ参加者

魅力発信のシンボルが誕生

久慈駅記念碑建立除幕式典 3月19日

JR東日本久慈駅前に、JR八戸線開業95周年と三陸鉄道開業40周年を機に記念碑が建立されました。久慈城跡や琥珀、北限の海女などの観光資源の発信に加え、町内会の活性化や地域のつながりを深めることを目的に、久慈駅記念碑建立実行委員会が建立したものです。

除幕式では、遠藤市長や鉄道関係者、地元実行委員らが一斉に紐を引き、久慈の歴史や文化が刻まれた記念碑が披露されました。同実行委員会の大沢俊光代表は「先人の成果を称え、JR久慈駅開業100周年に向けたまちづくりの起点にしたいです」と期待を込めました。



記念碑を囲み記念撮影する関係者

広報活動への協力に感謝

「くじいくじ〜くちょべつと」パーソナリティへの感謝状贈呈 3月24日

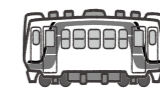
久慈警察署の各種取り組みの広報活動に貢献したとして、久慈警察署からエフエムいわての番組「くじいくじ〜くちょべつと」パーソナリティの八重櫻真一さんに感謝状が贈呈されました。

八重櫻さんは「報道の仕事をしてきた中で、感謝状をいただくのは初めてで驚いています。今後も1市民としてルールを守っていきたいです」と笑顔で話しました。

3月30日には同番組の最終回が放送され、八重櫻さんがリスナーから届いたメッセージで番組の思い出を振り返り、約15年半の歩みを温かく締めくくりました。



感謝状を手に笑顔の八重櫻さんと久慈警察署の後藤俊生署長



まちのわだい

交通死亡事故ゼロを継続

死亡事故ゼロ2年3カ月達成賞賛状伝達式 2月20日

久慈市内での交通死亡事故は令和5年11月9日から発生しておらず、2月8日で2年3カ月を達成しました。

2月20日、市民一人ひとりが交通安全を意識し続けた成果として、若手県警察本部の賞賛状が後藤俊生久慈警察署長から市へ伝達されました。

賞賛状を受け取った遠藤市長は「今回の達成は関係者の皆様のお力添えや、地域住民の日頃からの交通事故防止啓発活動のたまものです。交通安全季節運動をはじめとする啓発活動を積極的に推進し、交通死亡事故ゼロの継続に努めます」と決意を新たにしました。



後藤俊生久慈警察署長から賞賛状を受け取る遠藤市長

柔道の力で地域を繋ぐ

柔道のまちづくり講演会 3月26日

柔道の魅力と関心を高める講演会をアンバーホールで開催。カナダでKIZUNA JUDO CLUBを主宰する市出身の延足武さんを講師に約60人が参加しました。

延足さんは、三船十段記念館で培った経験を原点に、海外で柔道を通じたコミュニティづくりに取り組む様子を紹介。多文化が交わるカナダで、柔道場を人が集い交流する拠点とし、誰もが居心地よくいられる場にしていきたいと語りました。参加者は、講演を通して柔道を通じたコミュニティづくりに触れ、日頃の地域のつながりや支えあう大切さを改めて認識しました。



柔道の魅力を語る延足さん